



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、2008年度上期におけるジャパンネット銀行の取り組みを皆さまにご紹介するため、中間期ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご覧くださいますようお願い申し上げます。

2008年度中間期は、口座数190万口座、預金残高4,462億円、ネット決済件数は4,119万件、当期純利益1億5千6百万円となり、2007年度に続き、黒字を計上いたしました。

2008年9月以降の金融市場の混乱は、株価の大幅な下落など、金融機関の業績に少なからずマイナス影響を与えておりますが、当社は従来より安全性を重視した運用を行っており、その影響を限定的なものとすることができました。今後もお客さまの大切な資産をお預かりする銀行としての健全・堅実な経営に努めてまいります。

インターネットの市場は拡大を続けており、当社をご利用いただくお客さまも順調に増加しております。

「JNB-toto」や「JNB電子マネー」など、2008年度上期に開始した新サービスも、多くのお客さまにご愛顧いただいております。また、お客さまのニーズにあった資産運用が可能になるような多彩な品揃えを目指し、「JNB投資信託」の取扱ファンドや「JNB-FX」の取扱通貨ペアの拡充を図っております。

昨今インターネットバンキングが一般化し、より身近な存在になるにつれ、ニーズもさらに多様化してきています。今後も皆さまのニーズに十分にお応えできますよう、魅力あふれるインターネット金融サービスを実現してまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2009年1月

代表取締役社長 村松 直人